

資料No.4

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 裾野市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持改善事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
富士急シティバス株式会社	系統名:青葉台・千福が丘ルート	①:バス・タクシー利用助成制度をより充実させるため、前年度交付者に対する助成券の郵送を実施 ②:助成券の対象年齢や助成額について利用者の意向の確認(利用者調査)。 ③:市内循環線の乗車調査により利用者に直接アプローチし、調査や対話集会を実施。	A ①70歳以上の市民を対象とした2,000円分のバス・タクシー利用助成券の交付。65歳以上の運転免許証自主返納者を対象とした3,000円分のバス・タクシー利用助成券の交付。 ②市広報媒体、市内各施設や金融機関、医療機関等へのポスター、時刻表掲示配架等継続。市内循環バスに関する取組等をバス車内にも掲示。 ③循環線バス利用者に調査(1ヶ月間)、対話集会等を実施し、意見聴取やデータによりニーズや課題等を整理。	A 目標①:年間利用者数10,000人(R4.10~R5.9の期間で2系統を合わせた人数)を設定。 達成状況:9月末時点の利用者数11,779人(うち、当系統7,234人)のため達成。 目標②:評価指標(アウトカム指標)「バス路線や便数」の満足度44.2%(普通以上)。目標値50%以上。 達成状況:令和5年1月実施の令和4年度市民意識調査結果50.3%のため達成。	改善点①:バス・タクシー利用助成制度をより充実させるため、新規申請方法についてオンライン窓口を検討。 改善点②利用者を対象とした対話集会等を実施、ニーズや課題の整理を実施したことから、改善案や利用促進策について検討し、利便性の向上のため関係機関等の調整実施していく。
富士急シティバス株式会社	系統名:青葉台・岩波ルート	①:バス・タクシー利用助成制度をより充実させるため、前年度交付者に対する助成券の郵送を実施 ②:助成券の対象年齢や助成額について利用者の意向の確認(利用者調査)。 ③:市内循環線の乗車調査により利用者に直接アプローチし、調査や対話集会を実施。	A ①70歳以上の市民を対象とした2,000円分のバス・タクシー利用助成券の交付。65歳以上の運転免許証自主返納者を対象とした3,000円分のバス・タクシー利用助成券の交付。 ②市広報媒体、市内各施設や金融機関、医療機関等へのポスター、時刻表掲示配架等継続。市内循環バスに関する取組等をバス車内にも掲示。 ③循環線バス利用者に調査(1ヶ月間)、対話集会等を実施し、意見聴取やデータによりニーズや課題等を整理。	A 目標①:年間利用者数10,000人(R4.10~R5.9の期間で2系統を合わせた人数)を設定。 達成状況:9月末時点の利用者数11,779人(うち、当系統4,545人)のため達成。 目標②:評価指標(アウトカム指標)「バス路線や便数」の満足度44.2%(普通以上)。目標値50%以上。 達成状況:令和5年1月実施の令和4年度市民意識調査結果50.3%のため達成。	改善点①:バス・タクシー利用助成制度をより充実させるため、新規申請方法についてオンライン窓口を検討。 改善点②利用者を対象とした対話集会等を実施、ニーズや課題の整理を実施したことから、改善案や利用促進策について検討し、利便性の向上のため関係機関等の調整実施していく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	裾野市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持改善事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>裾野市地域公共交通計画の基本理念</p> <ul style="list-style-type: none">・地域が一体となって守り育てる公共交通ネットワークの構築により、誰もが安心して移動できる持続可能な地域公共交通を実現する。 <p>計画の方針</p> <ol style="list-style-type: none">①公共交通のネットワークの再構築及び利便性の向上②公共交通の認知度の向上及び利用促進による利用者の増加③地域と一体となった移動手段の充実 <p>上記、3つの方針に基づき8つの目標を設定した。そのうちの1つが「バス・タクシーのネットワークの再構築・利便性の向上」である。</p> <p>これは、市民や来訪者の移動実態やニーズを捉え、最適なバス路線やルート、バス停位置、時刻表のあり方を検討することにより、既存のバス・タクシーネットワークの再構築を図るとともに、公共交通利用者の利便性の向上を目指すものである。</p> <p>この目標を達成するための事業として、「地域内フィーダー系統確保維持改善事業」がある。</p> <p>市民の生活交通の確保、継続を図ることを目的に地域内フィーダー系統確保維持改善事業(市内循環線)を実施する。</p>